

支部長会議報告(齊藤支部長)

平成 21 年度 第 3 回支部長会議報告

日 時：平成 21 年 12 月 8 日(火)
13:30～17:00
場 所：萱出第二ビル 5 階会議室
出 席 者：(本部)高橋会長、山崎副会長、末利副会長、高木専務理事、西村常務理事、横山審議役
(支部長)齊藤、吉川、中山、辻、福岡、近藤、甲斐
議 長：福岡近畿支部長

会長挨拶

1. 本部報告及び確認事項

(1)本部事項

文科省からの理科支援事業の廃止に対する継続要望を会長名で意見提出した

(2)第 4 回理事会報告

(3)平成 21 年度技術士 1・2 次試験報告

(4)総務委員会報告

- ・中四国支部からの四国支部の分離について会員数 300 名を超え分離設置妥当と理事会において承認
- ・理事選挙制度の検討着手

(5)講演会・見学会の補助金見直し(案)

2. 支部報告

(1)北海道支部(齊藤)

- ・協賛会員の「会友」への移行について

(2)東北支部(吉川)

- ・第 36 回技術士全国大会(仙台)報告

(3)北陸支部(中山)

- ・会員の関東地区における入会促進について

(4)中部支部(辻)

- ・第 42 回日韓技術士会議の名古屋市開催につ

いて

(5)中・四国支部(近藤)

- ・CPD への取り組みについて

(6)九州支部(甲斐)

- ・テレビ会議の結果報告

(7)近畿支部(福岡)

- ・2009 日中科学技術交流大阪シンポジウムについて
- ・新機種による TV 会議システムの結果について

平成 21 年度 第 4 回支部長会議報告

日 時：平成 22 年 3 月 16 日(火)
13:30～17:00
場 所：萱出第二ビル 5 階会議室
出 席 者：(本部)高橋会長、山崎副会長、末利副会長、内村副会長、高木専務理事、西村常務理事、横山審議役
(支部長)齊藤、吉川、中山、辻、福岡、近藤、甲斐
議 長：近藤中・四国支部長

会長挨拶

1. 本部報告及び確認事項

(1)本部事項

- ・平成 22 年度第 1 次 2 次試験日程について

(2)企画総務委員会報告

- ・平成 22 年度事業計画・収支予算について

(3)総務委員会報告

- ・慶弔規定の変更について
- ・地域組織の検討状況について
- ・支部運営規則の検討状況について

2. 支部報告

(1)北海道支部(齊藤)

- ・協賛会員を支部会誌購読の「会友」として位置づけを確認

- ・技術士リングネットの紹介
- (2) 東北支部(吉川)
 - ・東北支部の地域組織について
- (3) 北陸支部(中山)
 - ・北陸支部 40 周年記念行事について
 - 6 月 4 日(金)開催
- (4) 中部支部(辻)
 - ・兵庫県における本会 CPD の取り扱いについて
 - ・第 37 回技術士全国大会の準備状況について
- (5) 近畿支部(福岡)
 - ・支部会員拡大について
- (6) 九州支部(甲斐)
 - ・設立 45 周年祝賀会の開催報告
- (7) 中・四国支部(近藤)
 - ・中・四国支部分割後の組織図・役員体制・事務局について

理事会報告(能登理事)

平成 21 年度 第 5 回

日 時：平成 22 年 1 月 21 日(木)
13:00～17:30

場 所：萱手第 2 ビル 5 F 会議室

議 題：(主なもの)

(冒頭、監事から議事録の記載方針について、結果のみではなく概要を記すなど、もっと会員に分かりやすく記載すべきとの意見が出された。今後、広報委員会の検討結果を受けて、記載方針を理事会で検討することとした。)

【審議事項】

- ①平成 22 年度事業計画・収支予算
 - ⇒事業計画については社会貢献活動に関し、一部分言を追記すること、収支予算は原案通りとして了承された。また、支部・部会活動費(講演会・見学会開催補助費)の算定を前年 3 月末会員数ではなく極力最新とするよう、企画委員会で検討することとした。

- ②公益社団法人への移行申請に伴う追加決定事項
 - ⇒定款の一部修正、役員の選任、会計監査人の選任、会長及び副会長の選任、入会金及び年会費、常勤理事の報酬等の支給基準について、原案通り了承された。
- ③時総会の日時・議題等
 - ⇒原案通り(四国支部の設置、22 年度計画案など)了承された。

【報告事項】

- ①平成 21 年度技術士一次試験結果
 - ⇒9,998 名の合格(対受験者合格率 41.6%)があったとの報告があった。
- ②平成 22 年度技術士試験日程等
 - ⇒技術士第二次試験は 8 月 7 日(土)、8 日(日)、第一次試験は 10 月 11 日(月)に実施するとの報告があった。
- ③平成 23 年度技術士全国大会委員
 - ⇒当面 23 名の体制にて運営するとの報告があった。
- ④会員による活動グループの登録
 - ⇒コンプライアンス/リスクマネジメントセンター及び九州地域自治体等業務支援技術士センターの 2 グループの登録を承認したとの報告があった。
- ⑤会員等の入退会状況
 - ⇒事務局から、平成 21 年 11 月末現在、会員 13,388 名、準会員 A11 名、準会員 B3,630 名、賛助会員 176 社であるとの報告があった。

平成 21 年度 第 6 回

開催日時：平成 22 年 3 月 18 日(木)
12:00～15:00

場 所：萱手第 2 ビル 5 F 会議室

議 題：(主なもの)

【審議事項】

- ①中国支部・四国支部発足時の役員体制
 - 支部総会での役員互選手続きまでの間、現在の

支部役員を基本に選任することとした。

②理事会審議内容の広報

⇒理事会議事録の標準的な記載内容を決定するとともに、審議資料等をホームページに掲載することとした。

③慶弔規則の変更

⇒支部及び部会での対応にも関係することから、総務委員会で継続検討することとした。

④委員等の定年制度の導入についての提案発議について

⇒支部長、部会長、委員会委員に対する定年制度導入の提案があったが、次回理事会で審議することとなった。

【報告事項】

①平成 21 年度技術士第二次試験結果

⇒総監を除く技術部門で3,572名(合格率15.2%)、総監部門で697名(合格率21.4%)が合格したこと、JABEE修了生が5名合格したとの報告があった。

②部会長会議における理事選挙制度検討結果報告

⇒四国支部発足に伴う理事選挙制度の見直しに関し、基本的に各部会から最低 1 名の理事が選出される現行方式を望む部会が多数である旨の報告があった。

③講演会・見学会開催補助費算定の基準時点の変更

⇒標記補助費算出の基準会員数を前年 3 月末から 9 月末時点に変更する旨報告があった。

④地域組織に関する検討状況

⇒標記に関し、これまでの経緯、基本方針、地域組織設置の意義、目的等について検討状況の報告があった。

⑤会員等の入退会状況

⇒事務局から、平成 22 年 1 月末現在、会員 13,394 名、準会員 A12 名、準会員 B3,862 名、賛助会員 174 社であるとの報告があった。

⑥常設委員会等報告

⇒各委員会から活動状況の報告があった。

平成 22 年度 第 1 回

開催日時：平成 22 年 5 月 6 日(木)

13:00 ~ 17:30

場所：萱手第 2 ビル 5 F 会議室

議題：(主なもの)

(冒頭、監事から以下の要望があった。定款によれば、総会に欠席する会員は、書面にて表決権を行使するか、表決権を委任することとなっているが、現状は委任状形式の出欠状となっている。早急に是正されたい。また議事録に私の意見が全く記載されていないが、この要因は議事録作成を事務局に委託しているからであり、今後、理事録は理事自ら作成し、議事録署名人が内容を確認するようお願いしたい。これらの要望に対し、書面による表決に関しては次回臨時総会までに是正すること、議事録は従来通り事務局が案を作成し、議事録署名人が内容を確認し、理事会にて承認する(従来方式)こととした。)

【審議事項】

①平成 21 年度事業報告及び収支決算

⇒若干の文言修正で了承された。

②常務理事の選任

⇒空席となっていた常務理事に現在技術士試験センター長の横山氏を選任することで了承された。

③参与の委嘱

⇒前専務理事竹下氏を引き続き 2 年間参与に委嘱することとした(無報酬)。

④慶弔規則の変更

⇒就任中の委員会委員、支部・部会の役員(支部長、部会長は既に対象となっているので、それ以外の役員)を今回新たに対象とした規則の提案に対し、了承された。

⑤平成 22 年度名誉会員及び会長表彰者

⇒原案通り了承された。名誉会員は 9 名、会長表彰者は北海道支部推薦の板垣氏、松井氏を含め 83 名である。

【報告事項】

- ①技術士倫理要綱改定検討状況
 - ⇒「要綱」を「綱領」とし、7原則を基準とした改訂作業の状況について報告があった。
- ②対外活動促進費の運用に関わる手引きの変更
 - ⇒支給額の上限を30,000円とするとの報告があった。
- ③会員等の入退会状況
 - ⇒事務局から、平成22年3月末現在、会員13,357名、準会員A13名、準会員B3,826名、賛助会員172社であるとの報告があった。
- ④常設委員会等報告
 - ⇒各委員会から活動状況の報告があった。